

会員交流会を開催しました

12月は例年、会員交流会と題して手づくり講座を行っています。フェルト手芸、レザークラフトに続き、今回は苔玉作りということで、「モスガーデン」を主宰されている古原 由香 氏を講師にお招きしました。

苔玉作りの知識は無かったのですが、材料も道具も一人ずつセットされており、当初は泥まみれになるかと気にしていましたが、ビニール手袋をはめての作業なので汚れることも気にならずに作業が進みました。

最初の作業は土台作りです。ビニール袋に入っている土に水を少しずつ加えて柔らかくしていきます。作業をしているうちに、手の感触と土の香りで癒されました。粘土遊びの様に「あ、これイイね。」とか、「気持ち落ち着くわ〜。」とあちらこちらから声があがっていました。開始早々から気分上々です。

次に苔玉の中心となる場所にクロマツの木を挿し、土を丸めていく工程では、童心に返って泥団子を作るように楽しくワイワイと盛り上がりました。



作業も最終段階。いよいよ、苔を貼り付ける作業です。苔は、もちろん生きていますので、茶色く変色して枯れたふり(この場合には水分を与えると緑色に戻ります。)をしたり、こちらが良かれと思ってあちらこちらに移動すると、苔がストレスを感じ、それこそ本当に枯れてしまうといったデリケートな植物だそうです。わが子をいたわるように丁寧に優しく取り扱いなければなりません。先ほどまで話し声や笑いで溢れていた会場も、いつしか静寂に包まれていました。

最後は、作った苔玉の周りを糸で巻き、お正月も近いこともあり、お正月飾りのピックを差し、富士山の絵柄のお皿に乗せ、招き猫の飾りを載せて完成です。盆栽とは、また違った「ザ・ジャパニズム」です。同じ材料でも、大きさや形がそれぞれ異なり、作る人の個性が表れた作品となりました。

まさにオンリーワンの苔玉です。丸くコロンとして愛嬌を振りまく自作の苔玉を眺めている皆さんは、まるで愛しい



わが子を見つめる優しい「母の顔」になっていました。

苔は暑さに弱く、寒さに強いそうです。時々日光浴をして少し水分を与えると、苔もイキイキとしてくるようなので、今後の成長も楽しみです。これから毎日眺めながら癒されたいと思います。

ホームページをリニューアルしました

このたび、ホームページをリニューアルしました。従来の内容を見直し、新たな項目も設けました。皆さまにご覧頂けるよう努めて参りますので、よろしくお願いたします。



活動報告(12月16日から1月15日まで)

活動日	内容
12/27	大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者差別解消支援地域協議部会 (大阪市役所)
1/11	エル・チャレンジ スタッフ連絡会 スタッフ向け研修 (アネックスパル法円坂)
1/13	株式会社ウィンズ大阪 寄附收受
1/14	2018新年のつどい (舞洲障がい者スポーツセンター)

大阪市育成会会員だより

《会員向け学習会のお知らせ》

- ・日 時：2月15日(木) 13:00~14:30
- ・場 所：社会福祉センター 303・304会議室
- ・テーマ：「4月から医療費助成制度がかわります」
- ・講 師：大阪市福祉局 生活福祉部 国保保健事業担当

《ご寄付を賜りました》

- 池原歯科医院 様 10万円
 - 寺田 行正 様 5万円
 - 株式会社ウィンズ大阪 様 14万円
 - ウィンズひまわり会 様 14万円
- ありがとうございました。